

UAゼンセン瑞祥会・ルボアユニオン ユニオンニュース

第63号

2026年1月30日発行

発行責任者 船川 健吾

編集責任者 神余 秀紀



瑞祥会・ルボアユニオンHP
<https://zuishou-ru.com/>

2026 労働条件闘争（春闘）が始まりました！！

標題のとおり、2026年度の労働条件についての団体交渉が始まりました。1回目は1月13日にサンパール白鳥で開催され、組合の要求に対する回答がありました。

要求内容

回答

(賃上げ)

- 1人当たり18,000円の引き上げ → 定期昇給
1人当たり85円の引き上げ → 昇給なし

(休日)

- 115日（現在110日） → 今年度増やしたばかりで、そのために人件費が8,000万円も増えたから難しい

(通勤手当)

- 1kmから支給 → 1kmからの支給は、社会通念上「基本給の底上げ」になるので、人件費増の今は出さない

(住居手当)

- 給与規程から「勤務する事業所より20km以内における親の住居状況」を削除 → 削除しない

(時給の上限)

- 時間給基準表の上限金額の撤廃 → 今すぐ導入するのは慎重にならざるを得ない

※ 要求と回答の一部を要約しています。詳しくはホームページでご確認ください。

要求に対する回答を載せているため、資格手当と役職手当の増額、夜勤手当の統一、その他には今回は触れませんが、組合は資格手当と役職手当の増額の二つに対しては懸念しており、すでに多くの意見も届いています。2月3日の2回目の団体交渉では、このことについてしっかりと伝えたいと思います。法人で働いている人たちの声を聞き、再考いただけることを期待しています。

余談ではありますが、サン未来やサンライズのある“福祉の杜”から高松空港までが約20kmです。ちょっと遠いと思います。

（裏面へ続く）

回答を受けてただちに届けた再要求書には、「時給を 60 円、時給制以外の職員には 10,000 円を、定期昇給とは別に時給と基本給に上乗せ」していただくよう記載しました。法人は「手当を増額すれば、結局のところ手取りは増える」という方針であると思われますが、国からの補助金の分配がはつきり見える形での支給の方が、納得感が高まりますし、資格も役職もない職員にもきちんと賃上げがなされます。今回の国の意図はそこにあると捉えていますので、平等でわかりやすい分配を求める。

ここ数年、他産業ではかつてない賃上げが続いている。残念ながら医療・介護・福祉部門はその流れに乗り切れていないのが実際です。しかし、次年度は介護従事者の賃上げについての補正予算が成立しましたので、介護職には最大 1 万 9,000 円、他職種には 1 万円が国から支給されます。それに加えて法人の財源による賃上げが実現すれば職員のモチベーションは上がり（それでも他産業より低賃金であることに変わりはありませんが・・・）、きっとサービスの質が改善するであろうと期待できます。一部の人は否定するでしょうけど、一年を通しての研修の効果が認められず、業務の負担による疲弊が増した今、何もなければ職場の雰囲気を良くするのは困難でしょう。雰囲気が良くなればサービスの質が向上するはずがありません。ガバナンスやシステムや研修では無理な話です。士気が高まってこそガバナンスやシステムの構築が有効になると考えます。

※交渉経過や詳細はホームページで随時お知らせいたしますのでご覧になってください。

第 1 回ボウリング交流会

1月 26 日（月）志度ファミリーボウルにて組合員によるボウリング交流会が開催されました。

予想を上回る盛り上がりの中、2 ゲームの合計得点でチームと個人の順位を競いました。優勝チームと個人戦上位 3 名には豪華景品が送られ、そのほかの人にも参加賞が手渡されました。

上記のとおり、思っていたよりも盛り上がりましたので、またボウリング交流会が開催された折には多くの組合員のご参加をお待ちしています。



×-----

キリトリ-----

ワークルール豆知識応募用

第____回	氏名	施設名	解答
加入申込書		申込日 年 月 日	
氏名	フリガナ	生年月日	
住所	〒		
電話番号			
施設名		経験年数	年 カ月
職種		雇用区分	正社員 パート